

2023.4.1 SAT



9.10 SUN

清
川
泰
次

絵画とテキスタイルデザイン

上《Painting No.194》1994年部分 下《No.579-TKJ》1979年部分 撮影：上野則宏

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202

<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

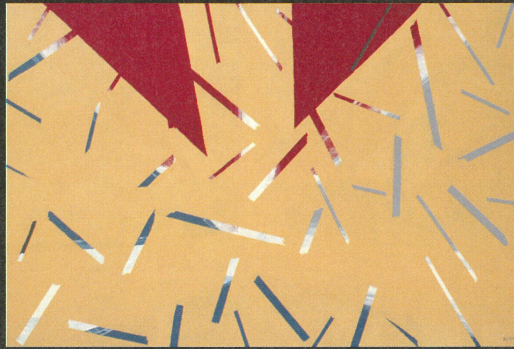
開館時間 | 10:00～18:00(最終入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)は休館
観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) *障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金 *世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

Taiji Kiyokawa's
Paintings and Textile Designs

「もの」を写すことにとらわれない独自の抽象表現を追求した画家・清川泰次(1919-2000)。1940年代より画家として歩みはじめた清川は、50年代、60年代の二度の渡米を経て、自らのスタイルを確立していきました。1970年代以降は、白く塗ったキャンバスとグレーの線などによる画面構成で制作を重ねたのち、アクリル絵具を用いた、明快な色彩と形態での表現へと移行していきます。

いっぽう、1970年代後半から清川が携ったもうひとつの仕事として、暮らしにかかわる製品のデザインが挙げられます。この頃清川は、グラスや皿といった食器をはじめ、カーペット、タペストリー、カーテン生地、ハンカチ、ネクタイなどのテキスタイルデザインも多く手掛けました。リズムカルに配置されたそれらの線や、複数の色が響き合うような色彩には、同時期の絵画と共通する線と色の構成をみることができます。

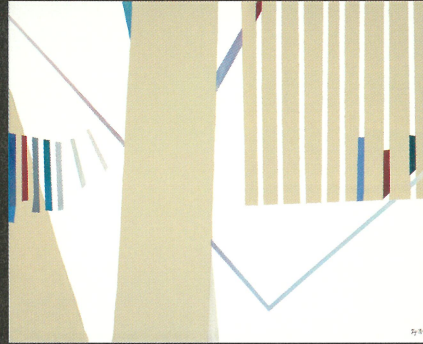
本展では、清川の絵画とテキスタイルデザインに着目し、1970年代以降の絵画とテキスタイルを、初公開となるデザイン原画と併せてご紹介します。



《Painting No.190-91》1991年



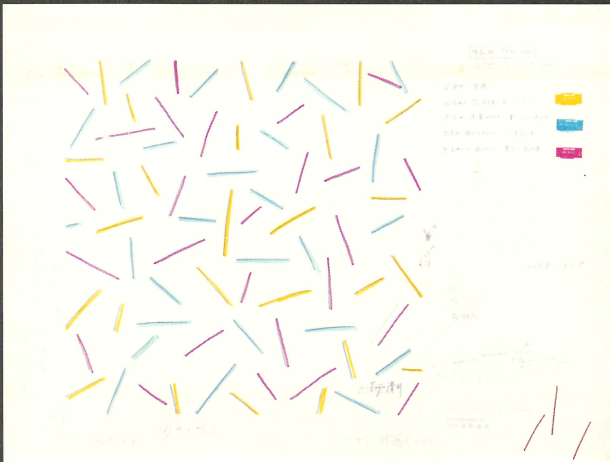
《Painting No.1195》1995年



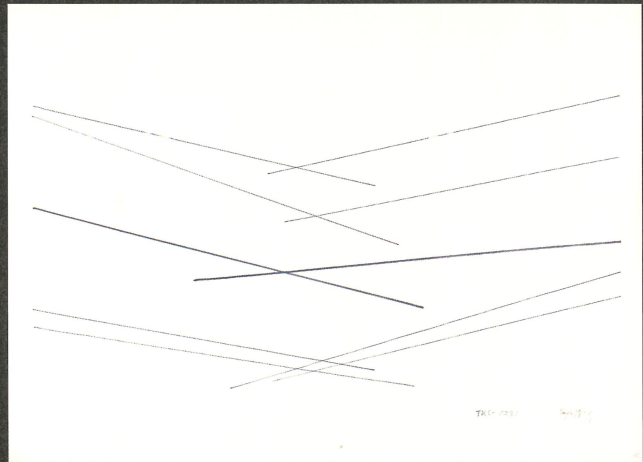
《Painting No.394》1994年



ハンカチ 撮影:S&T PHOTO



《No.TKH-480》(ハンカチのためのデザイン原画) 1980年



《No.TKC-1281》(カーテンのためのデザイン原画) 1981年

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

清川泰次記念ギャラリーは、成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したもので、2003年に世田谷美術館の分館として開館しました。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。(展示予定はホームページをご覧ください)



©宮本和義

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館
宮本三郎記念美術館

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



©宮本和義

FLOWERS and FLOWERS 宮本三郎の描く花・華
2023年4月1日(土) - 9月10日(日)

世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkiichi-annex.jp/>



撮影:上野朋宏

開館30周年記念 向井潤吉からの贈りもの 自選寄贈作品一挙公開!
2023年4月1日(土) - 9月10日(日)

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催
催展

企画展

世田谷美術館コレクション選
わたしたちは生きている! セタビの森の動物たち 2月18日(土) - 4月9日(日)

麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン 4月22日(土) - 6月18日(日)

シャガール 版に生じた光の詩 — 神奈川県立近代美術館コレクションから 7月1日(土) - 8月27日(日)

土方久功と 柚木沙弥郎 — 熟き体験と創作の愉しみ 9月9日(土) - 11月5日(日)

ミュージアム
コレクション

I 山口勝弘と北代省三展 — イカロスの夢 4月22日(土) - 7月23日(日)

II 雑誌にみるカットの世界 — 『世界』(岩波書店)と『暮しの手帖』(暮しの手帖社) 8月5日(土) - 11月19日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒、検温にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。

※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合がございます。

※会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

[展覧会のご案内]
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)